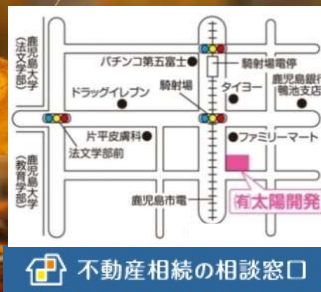


SUNSHINE

有限会社 太陽開発
 鹿児島市鴨池2丁目1-12
 TEL 099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://kagoshima-taiyo.jp

第 102 号

2019年令和元年秋号



不動産相続の相談窓口

第五上船ビル

今回紹介させて頂くマンションは、下荒田四丁目にあります賃貸マンションの第五上船ビルです。

間取りはほとんどのお部屋が3DKとなっています。キッチン6帖、洋室が6帖、和室が6帖のお部屋が2部屋となっております。どのお部屋も南向きの為、日当たりが良く、明るい雰囲気のお部屋です。ペット可のマンションとなっておりますので、犬や猫を飼っていらっしゃるご入居者様も多いのが特徴です。立地は竹迫温泉に近く、お買い物は、近くにタイヨーやローソンがある便利な立地です。

下荒田に限らず、荒田、鴨池等鹿児島大学への通学圏内の立地は、一人暮らし向けの物件は近年過剰供給気味ではありますが、こういったファミリー向けの間取りはまだまだ人気がある地域です。駐車場は8台分敷地内にご準備が有りますが、鹿児島市電にも近い為、お車を使用されない入居者様も多いです。近年は、ご自身が高齢になられて車に乗らなくなった時の生活を考え、団地の戸建から下場のマンションにお引越される方が増えています。ご興味がある方がいらっしゃれば是非一度お問い合わせ下さい。【川越】



外観

キッチンスペース

itoko (イトコ)

今回紹介いたしますお店は、鹿児島市荒田二丁目にありますitoko (イトコ)さんです。道路から一段下がった半地下で、秘密基地のような雰囲気があります。店内はカウンター席とテーブル席が3組あり、友達やカップルで行くにも、お一人で仕事帰りにちょこっと寄るのにも、うってつけのお店です。お店はご夫婦お2人でされてらっしゃって、ご近所のお客様も多く、アットホームな印象です。

店内ではよくハナレグミの曲が流れています。お店の雰囲気にマッチしていて、とても心地よい空間です。今回は弊社の賃貸社員4名でお邪魔させて頂いたのですが、食事が美味し過ぎた為、みんなガツガツ食べているうちに、栄える写真が撮れず…失礼いたしました。

〒890-0054
 鹿児島市荒田2丁目31-6
 instagram : itoko.328
 mail : itoko.328@gmail.com
 店休日:日・月・その他不定休
 (お知らせはinstagramにて!)
 19:00open~22:30(LO) 23:00close

私も一度一人で訪れたことがあるのですが、その時に食べたアボカドの生ハム巻きがめちゃ美味しかったです! 飲み物は、マルスのハイボールが個人的なおススメです。営業時間は左記の通りですが、今はお昼の営業もしているとの事です。お昼の営業についてはインスタグラムでチェックしてくださいね。インスタ[itoko.328]

ゆるぽるitoko
 Beer.wine.cocktail...and food.



itokoさんの夜の 外観写真

BOOKS No.101

花様年華



香港1962年。隣に住む男と女。秘められた恋。戸惑い、揺れ動く心…。新聞社の貴社であるチャウと、商社の秘書として働くチャン。ふたりは同じアパートに同じ日に越してきて、隣人となる。やがてふたりは、互いの伴侶が不倫関係にあることに気づき、次第に時間を共有すりようになる。家庭を持つ貞淑な男と女は戸惑いながらも、いつしか強く惹かれ合っていく…香港映画の騎手ウォン・カーウアイ監督の『花様年華』を元に、せつなく秘めやかな男女の交歓を描いた小説。



今回はせつかくなので、香港を舞台にした本を紹介いたします。2000年の映画『花様年華』からの描き下ろしの為、とても映像的で、想像力を掻き立てられる作品ですし、とても読み易いです。映画の方も是非観てみたいです。花様年華の世界観に浸りながらの香港の街歩きは楽しいものでした。



香港島を走る色とりどりのトラム

香港コンベンション&エキシビジョンセンター

九龍側より望む香港島の夜景・スターフェリー

ヴィクトリア・ピークからの庄巻! の眺め

香港

香港ヴィクトリアハーバー沿いにそびえ建つ巨大な建築物、香港コンベンションセンターの大ホールで行われた、ドイツ出身の著名な映画音楽家、ハンス・ジマーのコンサートを聴きに行きました。ハンス・ジマーの代表曲は「レインマン」「ライオンキング」「パイレーツオブカリビアン」等の映画音楽が有名です。曲の特徴として、オーケストラとドラム、ギター、シンセサイザー等をミックスさせた迫力のあるサウンドを体全体で感じる音楽です。観客数もケタ違いで、コンサートホール全体が巨大な音の渦に飲み込まれたような状態のコンサートで、初めての身震いする体験でした。

旅行前、香港では「逃亡犯条例」に反対する市民のデモが過激化しているニュースが報道されていたので、渡航を迷っていましたが、デモの場所に近づかなければ、問題ないだろうと判断し香港行きを決めました。私が宿泊したのは九龍半島のネイザンロード南端にあるホテルで、近くにマネーチェンジで有名な重慶(チョンキン)マンションもありヴィクトリアハーバー越しに、対岸の香港島の高層ビル群が見える夜景の素晴らしいホテルでした。

今回の旅のもうひとつの目的は、香港で30年以上旅行社を営んでいる大学時代の先輩お二人にお会いすることでした。先輩方と食事をしながら伺ったところによると、今後のデモの行方、香港政府の出方、香港の将来は全く予想がつかないとのこと。私の滞在中はデモには遭遇しなかったのですが、危険や不安は全く感じなかったのですが、地下道にはデモのビラが壁一面に貼られ、道路等にはHK IS NOT CHINAの落書きがところどころに見られました。実際、観光地でも白人観光客はチラホラ見かけましたが、中国人、日本人観光客と出会うことはほとんどありませんでした。9月の団体客数は前年同時期比で9割減に落ち込んだそうです。この状態が長らく続くと香港経済は取り返しのつかない事態に陥るとおっしゃってました。

今回デモを警戒しながら訪れた場所、経験したことをご紹介します。まずスターフェリーです。ビクトリアハーバーを運航し、九龍半島と香港島を結ぶスターフェリーは片道の運賃約40円の格安ですが、夜乗船すると海上より香港の夜景が身近に楽しめます。また、香港島の中心街をゆっくり走る2階建の香港トラム(路面電車)の2階からの眺めは観光気分が味わえるのでぜひお勧めです。こちらの運賃も約40円です。

あと定番の「100万ドルの夜景」を満喫できるビクトリアピーク。ビクトリアピークトラム(ケーブルカー)は1888年に開業した香港で最も古い公共交通機関で山の麓からピークを目指して、急勾配の斜面をゆっくり上っていきます。今回は残念ながら夜ではなく(デモは夕方より夜にかけて激しくなる為)昼間ビクトリアピークへ昇りましたが、高層ビル群とビクトリアハーバー、九龍半島の景色は“The 香港”でした。デモが原因で観光客が極端に少なく、待ち時間ゼロ(通常は2~3時間待ち)で乗車できました。

今回トラブル無く香港旅行を終えることが出来たのは、香港在住の先輩より生の情報を得て、デモが行われる場所を避けながら行動した為だと思います。本当は穏やかで、活気があり、美味しい香港を体験できればよかったのですが、今